

Department of Pediatrics, Tsukiyama Hospital

月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (~は*~*~*の@の上の^をshiftで変換)

月山病院小児科では子供達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

今回で院内報も37号となりました。今後、過去の号で取り扱っているものの質問の多いことについてはリニューアルしてお話します

けいれんの時どうするの？

けいれんってどんなの？

- 1 手足をつばったように硬くなるか、バタバタを繰り返す
 - 2 数秒以上の意識障害(呼びかけに反応しないこと)
 - 3 眼の動き異常(一点をみたまだったり、白目をむく)
 - 4 泡をふいたり、顔色が悪くなる
- 単発でピクツとしたり、細かく手足が震えたり(熱の上がりかけに多い)するのはけいれんではありません
けいれんがおこったら？
 1 あわてない
 2 気は動転しますが、ほとんどは数分でとまります
 3 十分に上続くようなら救急車を呼びましょう
 4 口にはなにも入れない
 5 舌を咬むことはなく、のどにつめやすくなり有害です、また体をゆすることもやめて下さい
 6 吐きそう、吐いたら、顔、体を横に向けて口の中に吐物が残らないようにして下さい
 7 熱を測って観察する
 8 熱があるかどうか、持続時間、顔色は特に重要です
 9 顔色が悪くなるようなら救急車を呼びましょう

大丈夫なの？(後遺症もふくめ)

- 1 9割以上をしめる熱性けいれんでは合併症や後遺症などを残しません
- 2 ただし次のような症状を呈する時はできるだけ早く医療機関を受診して下さい(救急車でもかまいません)
- 3 十分以上もけいれんが続く時
- 4 けいれん後も意識がはっきりしない(呼びかけに反応しない)ことが続く時
- 5 熱がない時
- 6 けいれん前にも熱が数日持続して、機嫌が悪く吐いたりしていた時
- 7 同日に2回以上もけいれんした時

今月の小児科診察予定

9月15日(敬老の日)、9月23日(秋分の日)、
 10月13日(体育の日)は9時から12時までは
 診察します
 金曜日午前中の診察は月山聖子が担当
 します、女性ならではの視点もあるかと
 思います育児相談等おきがるに御相談下さい



今月の顔

菜菔羽ちゃん、おおきくなたね！！

連載：今月はこんな月
 9月はこんな月

感染症は胃腸炎が少々認めるものの一年中
 もっとも少ない時期になり、10月中旬頃まで
 少ない時期が続きます、喘息などのアレルギー
 疾患は季節の変わり目で悪化しやすい時期と
 なり、重症化も認めるようになるため注意が
 必要です、勉強も本格的になり、運動会の
 練習も重なるなど精神的な負担がかかる時期
 です、こころのサポートも重要な時期です

境界領域(歯科)
 歯のみがきかた

歯について小児科は専門ではありませんが、質問が多いのでお答えします
はえはじめはどうやってみがくの？
 子供をあおむけにして頭を膝の上のせ、小さな歯ブラシか、手や割りばしな
 どにガーゼや綿を巻いて、歯のまわりをこすって汚れを取り除くようにしま
 しょう
みがくようになるの？
 いやがる子を無理やりにはいいませんが、毎日我慢強く続けていくことが必
 要です、一度抜いてしまうと親子共々”まあ、いいか”になってしまいます、
 また虫歯は怖いものと絵本などで信じこませると、結構納得するようです
歯ブラシは？
 子供用歯ブラシで充分です、
 本人が嫌がらなければ極く簡単な(強力でない)電動歯ブラシでもいいようです
歯ブラシにはなにかつけるの？
 別になにもつける必要はありません、子供がつけたほうを喜ぶのであれば使用
 してもかまいません
自分だけでいいの？
 子供の力だけでは歯みがきは小学校頃までうまくいきません、
 またさぼってしまいがちです、仕上げみがきは必ずしてあげて下さい

インフルエンザワクチン予約について

この頃インフルエンザワクチンの予約はまだですが、という問い合わせが
 多くなってきました、インフルエンザワクチンのお話は次回の号で詳しく
 お話しますが、予約は十月一日から受け付けます、電話でも結構ですが、
疑問や質問がある場合は事前の診察時にも御相談下さい

熱性けいれん

発熱(けいれんがおこった時に気づくこともありますが)に伴うけいれんで
 す。熱の上がりかけに多く発症しますが、高熱だからおこるわけではあり
 ません。年齢では六カ月から小学校低学年に発症します。十人に一人程度
 が発症しますが、そのうち約半数の人は一生に一度しか発症しません。
 今まで元気だった子が突然、体がたたく、手足をバタバタさせる、
 白目をむく、意識がなくなる、泡をふく、唇の色が紫になる、などの症
 状がで、お母さん、お父さんをびっくりさせます。しかし、ほとんどは
 十分以内にけいれんはとまり、意識も回復し合併症や後遺症などを残さ
 ないのが普通です